

彙 報

本会記事

西南アジア研究会総会

2006 年度総会は、先の会告のごとく、2006 年 12 月 16 日午後 2 時から、京都大学文学研究科・文学部新館第 4 講義室において開催された。

間野英二会長の開会の挨拶に続いて、新谷英治氏を議長に選出し、議事に入った。まず久保一之委員から、会誌発行状況、会員数、会計等の会務についての報告が行われ、ついで、会計業務について、総会開催以前に堀川徹監事（総会には欠席）の監査を受け承認されている旨報告された。さらに、間野会長より、新たに赤松明彦氏を編集委員に加えたことが報告された。その後、近年の会誌発行の経費や会費納入状況をふまえて、今後の活動について話し合われた。

総会議事の後、東京大学大学院人文社会系研究科教授小松久男氏に「帝政治下のダール・アル＝イスラーム——トルキスタン・ムスリム知識人の理解——」と題してご講演いただき、最後に濱田正美委員の閉会の挨拶をもって終了した。

会費納入のお願い

本誌第 65 号発送時に 2006 年度会費（第 65－66 号相当分）および滞納金をご請求申し上げたところ、多くの方からご協力が得られました。誠に有難く存じ上げます。

しかしながら、いまだにご入金いただいていない会員の方も、少なくありません。第 65 号発送時にご通知した、会費納入状況をご確認の上、早々にお支払いいただけるようお願い申し上げます。

ご投稿のお願い

より充実した誌面をお届けできますよう、会員の皆様の活発なご投稿をお待ち申し上げております。論文、研究ノートや書評に限らず、研究動向・学会動向その他、有益な各種情報もお寄せ下さいますようお願い申し上げます。投稿規定は本誌第 65 号末尾に掲載してありますので、原稿作成の際ご参照下さるようお願い致します。